

外国語教育の抜本的強化のイメージ

CEFR

B2

(英検準1級等)

B1

(英検2級等)

A2

(英検準2級等)

A1

(英検3級等)

現状

- ・学年が上がるにつれて意欲に課題
- ・学校種間の接続が不十分

改善・充実

高校卒業レベル
現: 3,000語程度
新: 4,000
~ 5,000語程度

高等学校

高等学校で
現: 1,800語程度
新: 1,800
~ 2,500語程度

中学校

中学校で
現: 1,200語程度
新: 1,600
~ 1,800語程度

小学校

小学校で
新: 600
~ 700語程度

高等学校

英検準2級程度以上の生徒
39.3%(目標50%)

- ・学習意欲、発信力に課題
- ・言語活動が十分でない

中学校

年間140単位時間
(週4コマ程度)

英検3級程度以上の生徒
40.7%(目標50%)

- ・学習意欲、積極性の向上
- ・言語活動が十分でない

小学校

年間35単位時間
(週1コマ程度)

活動型

- ・読み書きに対する意欲
- ・音声から文字への接続に課題がある

新たな外国語教育

「何が出来るようになるか」という観点から、国際基準(CEFR※)を参考に、**小・中・高等学校を通じた5つの領域(「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「やり取り・発表」「書くこと」)別の目標を設定**

【2020年度~】
大学入試改革

- ・**5領域を総合的に扱う科目群**として「英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ」を、**発信力を高める科目群**として「論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」を設定
- ・授業は外国語で行うことを基本(前回改訂より)

【2019年度~】
改善のためのPDCAサイクル
高校生のための
学びの基礎診断

年間140単位時間(週4コマ程度)

- ・互いの考えや気持ちなどを外国語で伝え合う**対話的な活動を重視**
- ・具体的な課題を設定するなどして、学習した語彙、表現などを**実際に活用する言語活動を充実**
- ・**授業は外国語**で行うことを基本

【2019年度~】
改善のためのPDCAサイクル
全国学力・
学習状況調査

5・6年(教科型) 年間70単位時間(週2コマ程度)

- ・段階的に「読むこと」「書くこと」を加える
- ・指導の系統性を確保
(15分程度の短時間学習の活用等を含めた弾力的な時間割編成も可能)

3・4年(活動型) 年間35単位時間(週1コマ程度)

- ・「聞くこと」「話すこと(やり取り・発表)」を中心
- ・外国語に慣れ親しませ、学習への動機付けを高める

※CEFR: 欧州評議会(Council of Europe)が示す、外国語の学習や教授等のためのヨーロッパ共通参照枠を言う。英検との対照は日本英語検定協会が公表するデータによる。